

令和元年度

北海道高等学校教育研究大会教科別集会

情報部会

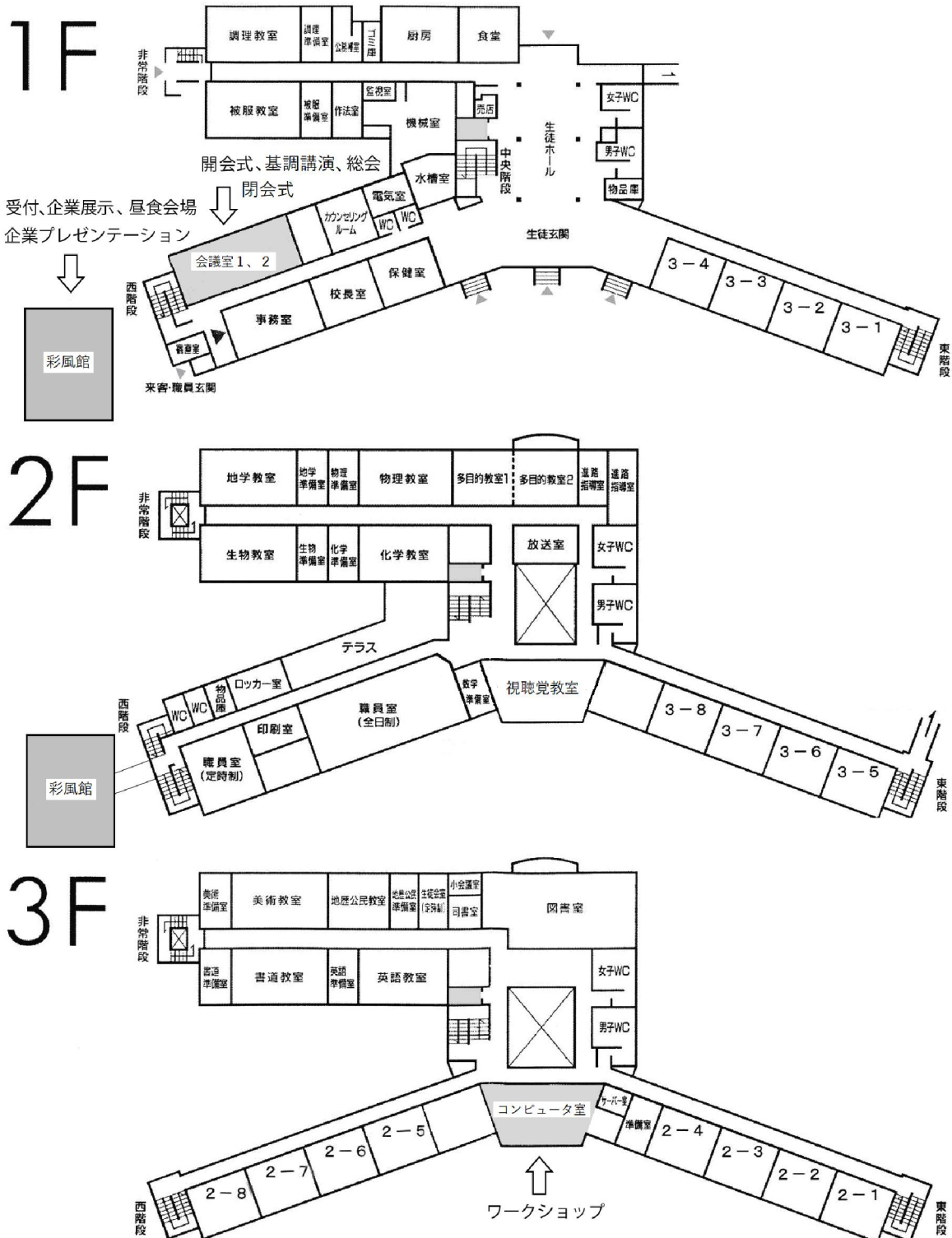
北海道札幌北高等学校 令和2年1月9日(木)

1	時程	1
2	会場平面図		
3	企業展示・企業プレゼンテーション進行表	2
4	総会		
	(4-0) 総会次第	3
	(4-1-1) 平成30年度 一般会計収支決算	4
	(4-1-2) 平成30年度 特別会計収支決算	5
	(4-1-3) 平成30年度 積立会計収支決算	6
	(4-2) 令和元年度 役員構成	7
	(4-3-1) 研究紀要		
	(4-3-2) キャラバン研究会		
	(4-3-3) 情報教員養成プロジェクト	9
	(4-3-4) 授業レシピプロジェクト		
	(4-3-5) 令和元年度高教研情報部会アンケート		
	(4-3-6) 全国高等学校情報教育研究大会参加報告		
	(4-4-1) 令和元年度 一般会計予算	10
	(4-4-2) 令和元年度 特別会計予算		
	(4-4-3) 令和元年度 積立会計予算		
	(4-4-4) 令和元年度 一般会計中間報告	11
	(4-4-5) 令和元年度 特別会計中間報告		
	(4-4-6) 令和元年度 積立会計中間報告		
	(4-5) 令和2年度の研究テーマ	12
	(4-6-1) 研究紀要	13
	(4-6-2) キャラバン研究会		
	(4-6-3) 高教研情報部会アンケート		
	(4-6-4) 全国高等学校情報教育研究会全国大会参加派遣		
	(4-7-1) 令和2年度 一般会計予算案	14
	(4-7-2) 令和2年度 特別会計予算案		
	(4-7-3) 令和2年度 積立会計予算案		
5	その他		
	(5-1) 北海道高等学校教育研究会情報部会規約	15
	(5-2) 参加者名簿	17
	(5-3) 懇親会のご案内	18
6	アンケート用紙	20~22
	(ご記入のうえ、閉会式後に冊子から外してご提出ください)		

1 時程

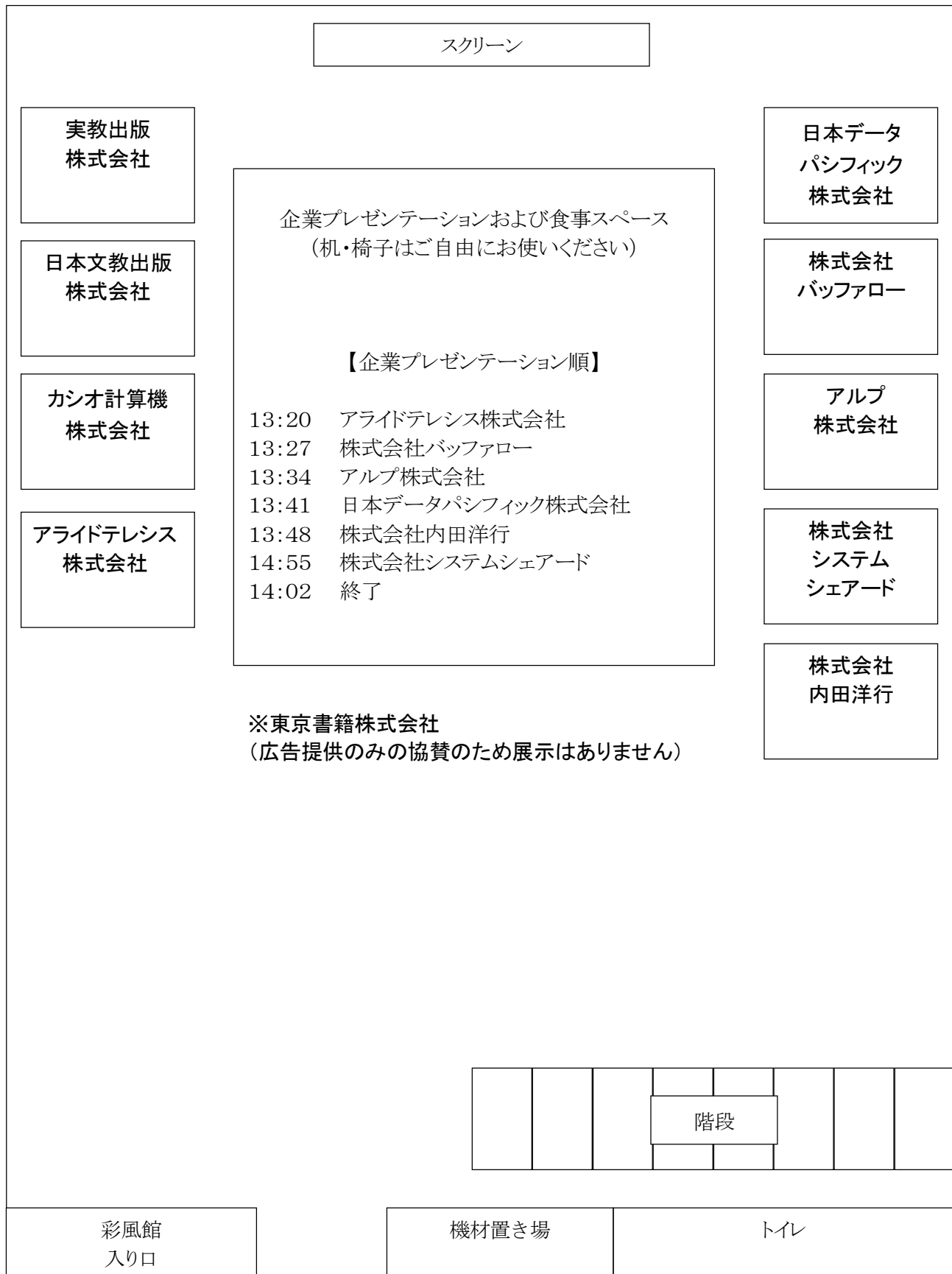
8:30~ 9:00	受付
9:00~ 9:10	開会式
9:20~12:30	ワークショップ
12:30~13:20	昼食・休憩
13:20~14:10	企業プレゼンテーション・企業展示
14:10~15:40	基調講演
15:40~16:20	総会・閉会式

2 会場平面図



3 企業展示・企業プレゼンテーション進行表

彩風館1階 会場図



4 総会

4-0 総会次第

*報告事項

- 1 平成30年度 収支決算
 - ・平成30年度 収支決算報告（一般・特別・積立）
 - ・平成30年度 会計監査報告（一般・特別・積立）
- 2 令和 元年度 役員構成
 - ・役員構成
- 3 令和 元年度 事業報告
 - ・研究紀要
 - ・キャラバン研究会
 - ・情報教員養成プロジェクト
 - ・授業レシピプロジェクト
 - ・高教研情報部会アンケート
 - ・全国高等学校情報教育研究大会参加報告
- 4 令和 元年度 会計執行状況

*審議事項

- 5 令和 2年度 研究テーマ
- 6 令和 2年度 事業案
 - ・研究紀要
 - ・キャラバン研究会
 - ・情報教員養成プロジェクト
 - ・授業レシピプロジェクト
 - ・高教研情報部会アンケート
 - ・全国情報研究大会参加派遣
- 7 令和 2年度 予算案（一般・特別・積立）

*その他

- 8 その他

4-1-1 平成30年度 一般会計収支決算

(様式 教-7-3)

平成30年度 会計収支決算書 (研究調査費)

平成31年1月22日

収入の部

北海道高等学校教育研究会 情報部会

科 目	予算額	決算額	増 減 (△)	摘 要
繰越金	300,000	361,701	61,701	
本部交付金	228,430	235,900	7,470	
雑収入	0	1	1	利息
合 計	528,430	597,602	69,172	

支出の部

科 目	予算額	決算額	増 減 (△)	摘 要
講師旅費・謝金	180,000	171,600	△ 8,400	謝礼、交通費
事業費	50,000	21,240	△ 28,760	ドメイン名使用料、サーバ利用料等
会場費	0	0	0	札幌北高彩風館
運営費	50,000	15,891	△ 34,109	役員昼食、飲み物等
研究調査費	50,000	0	△ 50,000	
備品運搬費	30,000	0	△ 30,000	
事務通信費	10,000	3,928	△ 6,072	郵送料、振込手数料
備品購入費	75,000	0	△ 75,000	
予備費	83,430	0	△ 83,430	
合 計	528,430	212,659	△ 315,771	

(収入額)

¥597,602

(支出額)

¥212,659

(残高)

¥384,943 [平成31年度へ繰越]

平成30年度会計収支について、監査の結果、適正であることを認める。

平成31年1月22日

監査(監事)

小甲 正



天野 将寿



※注

①収入・支出科目にない科目がありましたら適宜設けてください。

支出科目例—研究助成金、会議費、印刷費、消耗品費、通信費、予備費、運営費等。

②領収書(原本)などの証拠書は、各地区支部、各教科部会で保存してください。

本部事務局から提示を求められたら提出してください。

4-1-2 平成30年度 特別会計収支決算

(様式 教-7-3)

平成30年度 特別会計収支決算書

収入の部 北海道高等学校教育研究会 情報部会

科 目	予算額	決算額	増 減 (△)	摘 要
繰 越 金	20,000	21,777	1,777	
企業広告協賛金	100,000	140,000	40,000	
雑 収 入	0	40,001	40,001	十勝管内情報教育研究会より謝礼・利息
合 計	120,000	201,778	81,778	

支出の部

科 目	予算額	決算額	増 減 (△)	摘 要
運 営 費	30,000	37,006	7,006	【札幌キャラバン】 ¥29,856 【帯広キャラバン】 ¥0 【旭川キャラバン】 ¥7,150
役 務 費	80,000	95,397	15,397	【札幌キャラバン】 ¥11,580 【帯広キャラバン】 ¥47,590 【旭川キャラバン】 ¥36,227
積 立 会 計	0	0	0	
予 備 費	10,000		△ 10,000	
合 計	120,000	132,403	12,403	

収入額 201,778 支出額 132,403 残高 69,375

[平成31年度へ繰越]

平成30年度会計収支について、監査の結果、適正であることを認める。

平成31年3月28日

監査 (監事)

小甲 正

天野 将寿



4-1-3 平成30年度 積立会計収支決算

平成30年度 積立会計収支決算書

収入の部 北海道高等学校教育研究会 情報部会

科 目	収 入 額	摘 要
繰 越 金	21,912	
積 立 金	0	特別会計より
雑 収 入	0	
合 計	21,912	

支出の部

科 目	支 出 額	摘 要
運 営 費	0	
役 務 費	0	
事 務 通 信 費	0	
予 備 費	0	
合 計	0	

収入額 支出額 残高
 21,912 — 0 = 21,912

[平成31年度へ繰越]

平成30年度会計収支について、監査の結果、適正であることを認める。

平成31年3月28日

監査（監事）

小甲 正

天野 将寿



4-2 令和 元年度 役員構成

01	部会長	佐藤 健	北海道えりも高等学校	
02	副部会長	渡辺 晃史	北海道札幌北高等学校	
03	〃	古屋 順一	北海道美唄聖華高等学校	
04	監事	小甲 正	北海道札幌南高等学校	監査
05	〃	天野 将寿	市立札幌新川高等学校	監査
06	幹事	池田 弘樹	北海道滝川高等学校	授業レシंपプロジェクト/キャラバン研究会
07	〃	伊藤 崇	北海道伊達高等学校	サマースクール/ワークショップ/キャラバン研究会
08	〃	梅田 充	北海道札幌英藍高等学校	会計/企業展示
09	〃	奥村 稔	北海道有朋高等学校	サマースクール/ワークショップ/キャラバン研究会
10	〃	鎌田 亮樹	旭川藤星高等学校	キャラバン研究会/サーバ管理
11	〃	金谷梅太郎	北海道鹿追高等学校	キャラバン研究会
12	〃	土田 泰裕	北海道帯広柏葉高等学校	サマースクール/キャラバン研究会
13	〃	津端 公彦	北海道小樽潮陵高等学校	授業レシंपプロジェクト/企業展示
14	〃	古澤 正三	札幌北斗高等学校	サマースクール/キャラバン研究会
15	〃	前田健太郎	北海道札幌北高等学校	情報教員養成プロジェクト/キャラバン研究会
16	〃	宮川 尊充	北海道帯広緑陽高等学校	ワークショップ/キャラバン研究会
17	事務局担当	鶴間 伸一	北海道札幌稲雲高等学校	運営・渉外/基調講演/研究紀要(募集)/情報教員養成プロジェクト/キャラバン研究会(サマースクール)/

4-3-1 研究紀要

研究紀要への執筆者を choice ウェブページおよび choice メールリストを通して募ったところ、今年度は札幌英藍高校の安田優子先生から応募があり、執筆していただきました。

来年度も執筆の募集を行います。日頃の研究の成果を研究紀要としてまとめてみませんか。執筆を希望される方は高教研情報部会事務局担当鶴間(neo_turuq@yahoo.co.jp)までご連絡ください。

4-3-2 キャラバン研究会

キャラバン研究会は、積み重ねた実践を互いに共有し合うことで、生徒の学習意欲を高めながら全道各地で質の高い教育活動ができることを目指し、実務的な研修を行うものです。

学校事情や移動距離などにより1月の高教研情報部会の研究集会に参加できない先生方や、都市近郊から離れた土地で情報科を一人で担当して悩みを抱えている先生方などが、少しでも負担を感じることなく研修に参加する機会を設けるために始めました。

キャラバン研究会は、今までに40回の開催を経て、様々なフィードバックを得て少しずつ進化し続けています。教育実践の発表だけでなく、ワークショップや懇親会を通じて、多くの仲間達との出会いの場としても大きな位置を占めるようになってきました。これからも各地の学校を会場としてお借りして、より多くの先生方と交流できる機会を持ちたいと願っております。

キャラバン研究会は、皆様からのご要望があれば地域の研究会と共同開催させていただくことも、単独開催させていただくことも可能です。全道各地を巡回することも目標の一つとしています。学校事情等で1月の研究大会に参加が難しい地域での研究会開催や、地区の研究会の活性化にもお役に立てると思います。ご要望があればお応えします。高教研情報部会事務局担当鶴間(neo_turuq@yahoo.co.jp)までご連絡ください。

キャラバン研究会 昨年度までの実績

	A 地区 石狩・空知・後志	B 地区 渡島・桧山・胆振・日高	C 地区 上川・留萌・宗谷	D 地区 オホーツク・十勝・釧路・根室
平成 18(2006) 年度		01 伊達 (09月16日)		
平成 19(2007) 年度	02 倶知安 (10月27日)25名		03 旭川藤 (2月23日)22名	
平成 20(2008) 年度		04 函館西 (10月18日)17名		05 帯広三条 (10月25日)26名
平成 21(2009) 年度	06 岩見沢緑陵 (8月6日,7日)40名		08 旭川藤 (2月13日)13名	07 釧路江南 (11月13日)31名
平成 22(2010) 年度	09 岩見沢緑陵 (8月5日,6日)21名			10 紋別 (10月16日)17名
平成 23(2011) 年度	11 岩見沢緑陵 (8月5日,6日)22名 13 小樽工業 (11月21日)19名			12 音更 (10月28日)11名
平成 24(2012) 年度	14 岩見沢緑陵 (8月7日,8日) 17 小樽工業 (11月22日)20名	15 函館西 (10月6日)12名 16 室蘭栄 (10月12日)22名		
平成 25(2013) 年度	18 札幌北 (8月7日,8日)29名 19 滝川 (11月8日)17名 20 岩内 (11月14日)11名		21 旭川藤 (2月8日)12名	
平成 26(2014) 年度	22 札幌北 (8月4日,5日)20名 23 岩内 (11月12日)20名		25 旭川藤 (2月7日)13名	24 阿寒(12月18日) *悪天候のため中止
平成 27(2015) 年度	26 札幌北 (8月4,5日)19名 28 小樽桜陽 (11月13日)12名	27 静内農業 (10月30日)14名		
平成 28(2016) 年度	29 札幌北 (8月3,4日)45名 30 小樽桜陽 (11月11日)12名	31 伊達 (12月9日)7名		
平成 29(2017) 年度	32 札幌北 (8月7,8日)43名		34 旭川藤 (2月10日)13名	33 帯広柏葉 (10月25日)16名
平成 30(2018) 年度	35 札幌北 (8月5,6日)39名		37 旭川藤 (2月2日)22名	36 帯広柏葉 (10月24日)22名

令和 元(2019)年度の活動

- 第 38 回キャラバン研究会 in 札幌 (北海道札幌北高等学校 2019年8月5日、6日) 39名
 第 39 回キャラバン研究会 in 本別 (北海道本別高等学校 2019年11月22日) 27名
 第 40 回キャラバン研究会 in 旭川 (旭川藤星高等学校 2019年12月7日) 12名

4-3-3 情報教員養成プロジェクト

情報部会では、教科「情報」の教員免許取得を目指す学生を支援することで、教科指導力を持つ若い情報科の教員を増やそうと、平成 29 年度から「情報教員養成プロジェクト」を進めています。

平成 30 年度からは、千歳科学技術大学の学生が作成した教材とそれを利用した授業案の発表会に高校の教員が参加したり、高校の情報の授業(プログラミング)にティーチングアシスタント(TA)として学生が参加したりするなどの取り組みを行っています。昨年度は、研究集会の企業展示において学生が作成した教材の紹介も行いました。

今年度、TA として参加してくれた学生が公立高校や私立高校で採用され、情報の教員として働いています。また、他教科の免許を持っているという条件つきですが、ついに情報科の教員採用試験も始まりました。

これからも、この取り組みを継続して、北海道の情報科の教員を目指す学生を支援することを通して、北海道の情報教育の指導力のレベルアップにつなげていきたいと考えています。

4-3-4 授業レシピプロジェクト

情報部会では、授業の指導案や具体的な指導方法をまとめ、それを元に様々な学校で授業実践するプロジェクトを実施しています。授業案や演習のレシピのほかにも、授業で活用できるギミックも含め蓄積しています。

今年度はページの内容を整理しながらコンテンツの充実を図っていきます。

4-3-5 令和 元年度高教研情報部会アンケート

今年度のアンケートは令和2年1月以降に実施する予定です。アンケート結果の公表方法も含めて、後日ご案内いたしますので、ご協力をお願いいたします。

4-3-6 全国高等学校情報教育研究大会参加報告

本年度は、全国高等学校情報教育研究大会への参加派遣希望はありませんでした。

MEMO

4-4-1 令和 元年度 一般会計予算

(1) 収入の部

科目	平成29年度 予算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額	増減(△)	適用
繰越金	250,000	335,901	300,000	50,000	
本部交付金	228,430	234,920	228,430	0	
雑収入	0	3	0	0	
合計	478,430	570,824	528,430	50,000	

(2) 支出の部

科目	平成29年度 予算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額	増減(△)	適用
講師旅費・謝金	180,000	175,000	180,000	0	謝礼・交通費
事業費	50,000	9,905	50,000	0	ワークショップ企画
会場費	100,000	0	0	△100,000	
運営費	30,000	16,980	50,000	20,000	記録メディア等
研究調査費	30,000	3,446	50,000	20,000	研究資料・書籍
備品運搬費	10,000	0	30,000	20,000	機材運搬
事務通信費	10,000	3,792	10,000	0	文書郵送費
備品購入費	15,000	0	75,000	60,000	機材購入
予備費	53,430	0	83,430	30,000	雑費
合計	478,430	209,123	528,430	50,000	

4-4-2 令和 元年度 特別会計予算

(1) 収入の部

科目	平成29年度 予算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額	増減(△)	適用
繰越金	60,000	59,089	60,000	0	
企業広告協賛金	100,000	100,000	100,000	0	
雑収入	0	2	0	0	
合計	160,000	159,091	160,000	0	

(2) 支出の部

科目	平成29年度 予算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額	増減(△)	適用
運営費	60,000	34,062	60,000	0	
役務費	80,000	103,170	90,000	10,000	
積立会計	0	0	0		
予備費	20,000	82	10,000	△10,000	
合計	160,000	137,314	160,000	0	

4-4-3 令和 元年度 積立会計予算

(1) 収入の部

科目	平成29年度 予算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額	増減(△)	適用
繰越金	89,192	89,192	21,912	△67,280	
特別会計より	0	0	0	0	
雑収入	0	0	0	0	
合計	89,192	89,192	21,912	△67,280	

4-4-4 令和 元年度 一般会計中間報告

(1) 収入の部

科目	平成30年度 予算額	中間報告	増減(△)	適用
繰越金	300,000	361,701	61,701	
本部交付金	228,430	235,900	7,470	調査研究費
雑収入	0	1	1	利息
合計	528,430	597,602	69,172	

(2) 支出の部

科目	平成30年度 予算額	中間報告	残額	適用
講師旅費・謝金	180,000	0	180,000	
事業費	50,000	21,240	28,760	ドメイン名、サーバ使用料
会場費	0	0	0	
運営費	50,000	4,190	45,810	飲み物等
研究調査費	50,000	0	50,000	
備品運搬費	30,000	0	30,000	
事務通信費	10,000	3,108	6,892	郵送料、振込手数料
備品購入費	75,000	0	75,000	
予備費	83,430	0	83,430	
合計	528,430	28,538	499,892	

4-4-5 令和 元年度 特別会計中間報告

(1) 収入の部

科目	平成30年度 予算額	中間報告	増減(△)	適用
繰越金	60,000	21,777	△38,223	
企業広告協賛金	100,000	20,000	△80,000	
雑収入	0	0	0	
合計	160,000	41,777	△118,223	

(2) 支出の部

科目	平成30年度 予算額	中間報告	残額	適用
運営費	60,000	29,856	30,144	役員昼食、飲み物等
役務費	90,000	11,580	78,420	旅費、宿泊費
積立会計	0	0	0	
予備費	10,000	0	10,000	
合計	160,000	41,436	118,564	

4-4-6 令和 元年度 積立会計中間報告

(1) 収入の部

科目	平成30年度 予算額	中間報告	増減(△)	適用
繰越金	21,912	21,912	0	
特別会計より	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
合計	21,912	21,912	0	

(2) 支出の部

科目	平成30年度 予算額	中間報告	残額	適用
運営費	—	0	—	
役務費	—	0	—	
事務通信費	—	0	—	
予備費	—	0	—	
合計	—	0	—	

4-5 令和 2 年度の研究テーマ

令和 2(2020)年度研究テーマ趣旨説明文

学習指導要領の改訂に伴って「社会と情報」と「情報の科学」は一つの「情報 I」に統合され、すべての学校での履修がこの科目で統一されます。これまで「社会と情報」を選択してきた学校からすれば、情報の科学的な理解への比重が高まる「情報 I」は、とても敷居が高く感じるものかもしれません。さらには、情報についての知識や技術の習得のみならず、問題の発見と解決に向けて適切かつ効果的に情報技術を活用する力を育むことを、「主体的・対話的で深い学び」の中で実現しなければならないのです。

このような私たちをサポートするために、文部科学省から教員研修用教材が公開されました。とても丁寧に作られており、確かに私たちにとってはありがたい存在であることには間違いはありません。しかし、そもそも圧倒的な量と質の「情報 I」の内容を、これだけに頼って自分のものとするには無理がありますし、さらにそこからそれぞれの学校に相応しい具体的な授業をデザインしなければなりません。これはまさに、私たち自身に課せられた問題解決のそのものだと言えましょう。まず、このことに私たちは気付かなければなりません。

こうした状況の中にも希望はあります。北海道教員採用試験で本年度初めて情報科教員としての採用がありました。情報教育を担う人材が新しく誕生することは、とても大きな刺激であり希望です。

小中学校でも活発です。私たちが主催するものも含めたプログラミング・ワークショップに、数多くの参加者を見るようになりました。とても強い熱意と意欲を感じます。小中学校での新しいカリキュラムは来年度から段階的に実施されるからという理由はもちろんあるでしょうが、その経験を深め学ぼうとする前向きな姿勢は、私たちが理想とすべき姿と重なります。

ある経営学者の言葉に『変化はコントロールできない。できるのは、変化の先頭に立つことだけである。』というのがあります。この、「変化の先頭に立つ者」のことを、チェンジ・リーダーと呼びます。変化することが常態である今日では、変化はリスクに満ちて私たちに悪戦苦闘を強いるものです。しかし、チェンジ・リーダーこそが急激な社会構造の変化に耐え、それを乗り越えてよりよい社会を実現する存在なのだと知っているのです。

もちろん私たち皆がチェンジ・リーダーになれるわけではありませんし、なる必要もありません。私たちにとってのチェンジ・リーダーとしての本質は、変化に対応する構えを確かに持ち、子どもたちと共に知的好奇心を大切に、学びを通して変革への成功体験を重ねることなのではないでしょうか。このことが、これからもますます進展して複雑化する情報化社会において、変化のリスクに向かって果敢に挑戦する勇気と力、そして確たる根拠を与えるはずです。

今私たちに必要なのは、前に踏み出す勇気とオープンマインドであり、それこそが私たちが子どもたちに伝えたい学びに対する姿勢なのだと考えます。

以上を提案趣旨として、令和2(2020)年度の研究テーマを次のように示します。

「学びの本質を求めて、変化と向き合う勇気を持とう！」(Let's Begin Anyway !)

4-6-1 研究紀要

情報部会では下記により、次年度に向けての研究紀要の執筆者を募集します。執筆は個人によるものでもグループによるものでもかまいません。日頃の研究の成果を発表する場としてご利用いただきたいと思っております。

令和2年度北海道高等学校教育研究会研究紀要執筆者の募集について

2021年3月に発行される本研究会「研究紀要第58号」の教科部会「情報」の執筆者を募集します。募集する研究論文は、高教研の研究主題である、

「未来を担う人を育む北海道高等学校教育の創造」

に沿ったもので、以下の要件を満たしているものです。

(要件)

- ・執筆者は高教研の会員に限る。
- ・個人的でない内容である。
- ・単年度で完結した研究である。
- ・高校教育に関わる研究である。
- ・数年度のスパンにおいて、特定校・特定個人に偏らない。
- ・文字数は25,000文字以内(横25文字×1,000行)

個人もしくはグループで執筆を希望する会員は、研究紀要募集担当(高教研情報部会事務局担当鶴間(neo_turuq@yahoo.co.jp))にご連絡ください。choiceメーリングリストでも募集案内を流します。執筆に関しての質問もこちらで承ります。

執筆の希望者が複数出た場合は役員会で執筆者の選考を行います。

4-6-2 キャラバン研究会

積み重ねた実践を互いに共有し合うことで、生徒の学習意欲を高めながら全道各地で質の高い教育活動ができることを目指し、今年度に引き続き、キャラバン研究会を実施します。次年度は、実施実績の少ない各地区管内での実施を努力目標とします。キャラバン研究会の開催についてのお問い合わせは高教研情報部会事務局担当鶴間(neo_turuq@yahoo.co.jp)まで。

4-6-3 高教研情報部会アンケート

北海道内の情報科を担当する先生方が置かれている状況を把握・共有し、高教研情報部会としての活動をより有意義で質の高い先生方のニーズに合ったものにするために、次年度もアンケートを実施します。なお、前回のアンケートでいただいたご意見を基に、アンケート設問や結果の報告などについての検討・改善を加えます。

4-6-4 全国高等学校情報教育研究会全国大会参加派遣

高教研情報部会では、北海道の情報科教育の質をより高いものにするを目的として、高教研情報部会会員の、全国高等学校情報教育研究会全国大会への参加派遣補助を行っています。金額は2万円です。本年度は希望者がいませんでした。

次年度も、派遣補助人数は原則1名とし、choiceウェブページ上およびchoiceメーリングリストで告知し、希望者を募ります。派遣者は高教研情報部会総会での報告義務があります。

令和2年度第13回全国高等学校情報教育研究会全国大会は、2020年8月20日(木)21日(金)に、愛知県公立大学法人 愛知県立大学で開催されます。

全国大会の詳細は <http://www.zenkojoken.jp/> で確認してください。

4-7-1 令和 2年度 一般会計予算案

(1) 収入の部

科目	平成 29 年度 決算額	平成 30 年度 予算額	平成 31 年度 予算額	増減(△)	適用
繰越金	335,901	300,000	300,000	0	
本部交付金	234,920	228,430	234,920	6,490	
雑収入	3	0	0	0	
合計	570,824	528,430	534,920	6,490	

(2) 支出の部

科目	平成 29 年度 決算額	平成 30 年度 予算額	平成 31 年度 予算額	増減(△)	適用
講師旅費・謝金	175,000	180,000	180,000	0	謝礼・交通費
事業費	9,905	50,000	50,000	0	ワークショップ企画
会場費	0	0	0	0	
運営費	16,980	50,000	50,000	0	記録メディア等
研究調査費	3,446	50,000	50,000	0	研究資料・書籍
備品運搬費	0	30,000	30,000	0	機材運搬
事務通信費	3,792	10,000	10,000	0	文書郵送費
備品購入費	0	75,000	75,000	0	機材購入
予備費	0	83,430	89,920	6,490	雑費
合計	209,123	528,430	534,920	6,490	

4-7-2 令和 2年度 特別会計予算案

(1) 収入の部

科目	平成 29 年度 決算額	平成 30 年度 予算額	平成 31 年度 予算額	増減(△)	適用
繰越金	59,089	60,000	20,000	△40,000	
企業広告協賛金	100,000	100,000	100,000	0	
雑収入	2	0	0	0	
合計	159,091	160,000	120,000	△40,000	

(2) 支出の部

科目	平成 29 年度 決算額	平成 30 年度 予算額	平成 31 年度 予算額	増減(△)	適用
運営費	34,062	60,000	30,000	△30,000	
役員費	103,170	90,000	80,000	△10,000	
積立会計	0	0	0	0	
予備費	82	10,000	10,000	0	
合計	137,314	160,000	120,000	△40,000	

4-7-3 令和 2年度 積立会計予算案

(1) 収入の部

科目	平成 29 年度 決算額	平成 30 年度 予算額	平成 31 年度 予算額	増減(△)	適用
繰越金	89,192	21,912	21,912	0	
特別会計より	0	0	0	0	
雑収入	0	0	0	0	
合計	89,192	21,912	21,912	0	

5 その他

5-1 北海道高等学校教育研究会 情報部会規約

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、北海道高等学校教育研究会情報部会と称する。

(目的)

第2条 本会は、北海道高等学校教育研究会の目的に準じ、共通教科ならびに専門教科「情報」の教育(以下、情報教育と称する)に関する事項を研究し、会員相互の研修と識見の向上につとめ、情報教育の振興を図る。

(会員)

第3条 本会の会員は、北海道高等学校教育研究会の会員であつて、情報教育を研究する者、ならびに情報教育の趣旨を生かした教育活動を行おうとする者をもって構成する。

第2章 事 業

(事業)

第4条 本会の目的を達成するため、情報教育に関する研究を通して下記の事業(北海道高等学校教育研究会会則第4条による)を行う。

- (1) 研究会の開催
- (2) 機関誌への寄稿
- (3) 講習会、講演会の開催
- (4) その他本会の目的達成に必要と認められる事業

第3章 組 織

(役員と任務)

第5条 本会の役員と任務は、次のとおりとする。

- (1) 部会長 (1名 本会の運営を統括し、本部役員となる。)
- (2) 副部会長(2名 部会長を補佐し、部会長に事故あるときは職務を代行する。)
- (3) 監事 (2名 本会の業務および会計を監査する。)
- (4) 幹事 (若干名 本会の会務に参与する。)
- (5) 事務局長(1名 本会の事務を統括し、本部との連携を図る。)

(役員を選出と任期)

第6条 本会の役員を選出は、次のとおりとする。

- (1) 部会長は、北海道高等学校教育研究会情報部会加入の校長とする。
- (2) 副部会長は、北海道高等学校教育研究会情報部会加入の校長、副校長または教頭とし、部会長が委嘱する。
- (3) 監事は、本会会員から選出し、部会長が委嘱する。
- (4) 幹事は、本会会員から選出し、部会長が委嘱する。
- (5) 事務局長は、本会会員から選出し、部会長が委嘱する。

2 役員任期は1年とし、再任を妨げない。

3 情報部会総会において、役員を報告する。

(事務局)

第7条 本会の事務局は、原則として幹事によって構成される。

2 必要に応じて、札幌市内および近隣の本会会員をその構成員とすることができる。

第4章 会 議

(本部役員会)

第8条 本部の役員会(年3回)には、部会長と事務局長が情報部会を代表し出席する。

(役員会)

第9条 役員会は、部会長が招集し、次の事項を審議する。

- (1) 事業報告および収支決算
- (2) 監事による監査報告
- (3) 事業計画および、収支予算
- (4) 役員を選出
- (5) その他、必要とする事項

2 臨時役員会は、必要に応じて部会長が招集する。

(総会)

第10条 総会は、北海道高等学校教育研究大会の教科別集会において開催し、会の規約や業務、会計に関する
ことなどについて審議する。

第5章 会 計

(経費)

第11条 本会の経費は、北海道高等学校教育研究会からの交付金、およびその他の収入による。

(書記・会計)

第12条 書記・会計に関する業務は、事務局員が担当する。

(会計年度)

第13条 本会の会計年度は、毎年4月1日より始まり翌年3月31日までとする。

第6章 その他

(規約の改廃)

第14条 規約の改廃は、役員会で審議し、総会で承認するものとする。

(細則)

第15条 本会に必要な細則は、別に定める。

附 則

- (1) この規約は、平成15年1月10日より施行する。
- (2) 平成16年1月9日 第6条(2)を改正。
- (3) 平成24年1月12日 第2条、第3条、第6条(2)の一部を改正。
- (4) 平成25年1月10日 第9条を改定。
- (5) 平成30年1月11日 第2条、第3条、第4条、第5条、第6条、第7条、第9条を改正。

渡辺 晃史

5-2 参加者名簿

No.	支 部	学 校	氏 名	参加	参加 WS	懇親会
1	日胆	えりも	佐藤 健	部会長	B	○
2	空知	美唄聖華	古屋 順一	副部会長	A	×
3	石狩	札幌北	渡辺 晃史	副部会長	×	×
4	石狩	札幌南	小甲 正	監事		
5	石狩	札幌北	太田 吉祐	◎	×	×
6	石狩	札幌北	前田健太朗	幹事	B	○
7	石狩	札幌北	前川 繁信	◎	×	×
8	石狩	札幌北	木村 嘉延	◎	×	×
9	石狩	札幌厚別	鈴木 崇令	◎	A	×
10	石狩	札幌稲雲	鶴間 伸一	幹事	B	○
11	石狩	札幌英藍	梅田 充	幹事	—	○
12	石狩	札幌英藍	安田 優子	◎	B	○
13	石狩	札幌英藍	武藤 良弘	×	×	○
14	石狩	札幌琴似工業	小松田忠良			
15	石狩	有朋	奥村 稔	幹事	ファシリテータ	○
16	石狩	江別	風上 拓弥			
17	石狩	野幌	福田 通康	◎	B	○
18	石狩	石狩翔陽	中根 孝浩	◎	B	×
19	石狩	札幌旭丘	高瀬 敏樹	◎	B	×
20	石狩	札幌旭丘	高木 裕	◎		
21	石狩	札幌旭丘	指田あすか	◎	B	×
22	石狩	札幌旭丘	溝口 義一	◎		
23	石狩	札幌開成中等教育	澤谷 明憲			
24	石狩	札幌開成中等教育	塚本 茂人			
25	石狩	札幌藻岩	高木 昭信			
26	石狩	札幌清田	杉本 式史	◎	×	○
27	石狩	札幌清田	後藤 信			
28	石狩	札幌新川	天野 将寿	監事	B	×
29	石狩	札幌大通	佐々木大輔	◎		
30	石狩	北海	岡部 征和			
31	石狩	札幌静修	石井 翼	○		
32	石狩	札幌北斗	古澤 正三	幹事		○
33	石狩	札幌山の手	鳴原 隆之			
34	石狩	札幌山の手	長谷川秀博			
35	石狩	札幌龍谷学園	竹本 正慶	◎	B	×
36	石狩	札幌龍谷学園	相蘇 孝哉	◎	B	○
37	道南	函館西	岩谷 義久	◎	A	○
38	後志	小樽潮陵	津端 公彦	幹事	—	○
39	後志	高等聾	草間由紀子	◎	B	×
40	空知	滝川	池田 弘樹	幹事	A	×
41	道北	旭川西	小玉 昌宏	○	B	×
42	道北	旭川北	帰山 悟			
43	道北	旭川永嶺	高原 聡	当日受付	A	○
44	道北	浜頓別	堀井 圭司			
45	道北	旭川大学高校	菅野 秀樹	○	B	×
46	道北	旭川藤星	鎌田 亮樹	幹事		○
47	道北	稚内大谷	小林 瞬	◎		
48	道北	小平高等養護	山下 賢一	◎	A	○
49	オホーツク	北見北斗	小野慎一郎	◎	A	○
50	オホーツク	紋別	吉川 邦彦	○	B	×
51	釧根	釧路江南	加藤 誠	◎	B	○
52	釧根	釧路江南	小湊 秀子	◎		

No.	支部	学校	氏名	参加	参加WS	懇親会
53	十勝	帯広柏葉	土田 泰裕	幹事	B	○
54	十勝	帯広緑陽	宮川 尊充	幹事	ファミリータ	×
55	十勝	池田	河野 好弘	◎	B	×
56	十勝	幕別清陵	田中 教之	◎	B	○
57	十勝	帯広北	佐藤 拓	◎	B	×
58	日胆	室蘭栄	阿部 英一			
59	日胆	伊達	伊藤 崇	幹事	A	×
60	日胆	静内	木原 弘紀	◎	×	×
61	一般参加	小樽商科大学	佐山 公一	当日受付	×	○
62						

5-3 懇親会のご案内

高教研研究集会情報部会「大懇親会」

今年も恒例の大懇親会を開催致します。ぜひ、奮ってご参加ください。

日時 令和2年1月9日（木）18：30～20：30

会費 3,500円

場所 ベアレンヴァルト 札幌駅前店

札幌市中央区北3条西3丁目 1-41 N・北3西3ビル 地下1F



MEMO

令和2年度 北海道高等学校教育研究大会教科別集会情報科部会アンケート

※今後の教科別集会、企業展示・企業プレゼンの参考にさせていただきます。本日の内容に関するご意見やご感想をお願いします。

質問1 開会式について

(1)内容について何かございましたら記入してください。

質問2 ワークショップについて

(2)参加したワークショップはどちらですか。

※1:Aコース(ファシリテータ 奥村教諭)、 2:Bコース(ファシリテータ 宮川教諭)

()

(3)ワークショップはあなたの期待に応えるものでしたか。次の4段階の数値でお答えください。

※4:期待通り、3:ある程度期待した通り、2:ちょっと期待した内容と異なる、1:期待した内容ではなかった

()

(4)難易度を次の4段階の数値でお答えください。

※4:難しい、3:やや難しい、2:やや易しい、1:易しい

()

(5)ワークショップの内容は今後の授業やあなた自身の研修に役立ちそうですか。次の4段階の数値でお答え下さい。

※4:具体的に何かに役立ちそう、3:何かに使えそう、2:あまり役立ちそうにない、1:全く役立ちそうにない

()

(6)その他にワークショップの感想・意見・要望がございましたら記入してください。

(7)今後のワークショップの内容としてどのようなものを期待しますか。(複数回答可)

()教科書にある内容の授業実践例の紹介。

()教科書にないオリジナルな授業の実践例や構想の紹介。

()先進的な技術を易しく解きほぐすもの。

()セキュリティや情報モラル・マナーに関するもの。

()情報デザインに関するもの。

()アルゴリズムやプログラミングに関するもの。

()情報通信ネットワークとデータの活用に関するもの。

()アクティブ・ラーニングなど授業法に関するもの。

()観点別評価や形成的評価に関するもの。

()その他()

質問3 基調講演について

(8)基調講演の満足度を、次の4段階の数値でお答えください。

※4:満足、3:まあ満足、2:やや不満、1:不満

()

(9)基調講演の感想等がございましたら記入してください。

(10)今後の基調講演でお話を聞いてみたい方がいらっしゃいましたら紹介してください。

質問4 総会・閉会式について

(11)内容について何かございましたら記入してください。

質問5 全体を通しての感想・意見・要望がございましたら記入してください。

※ご協力ありがとうございました

質問6 企業展示・企業プレゼンについて、もっと聞きたい・知りたい・思いついたことなどがございましたら
 企業ごとに記入してください。(参加企業には、最下欄の個人情報を含めて情報提供します。)

アライドテレシス株式会社	アルプ株式会社
カシオ計算機株式会社	株式会社内田洋行
株式会社システムシェアード	株式会社バッファロー
実教出版株式会社	東京書籍株式会社(広告のみの協賛)
日本データパシフィック株式会社	日本文教出版株式会社

※掲載順は企業名等の50音順です。

学校名等 (所属先)		お名前	
---------------	--	-----	--

※ご協力ありがとうございました